

平成23年度 農業農村整備事業等補助事業評価（事後評価）

【地区概要説明資料】

- 1 経営体育成基盤整備事業「つくも西地区」・・・・・・・・・・ 1
- 2 畑地帯総合整備事業「佐呂間東部地区」・・・・・・・・・・ 11
- 3 地域用水環境整備事業「美唄地区」・・・・・・・・・・ 23
- 4 中山間総合整備事業「厚沢部地区」・・・・・・・・・・ 27
- 5 畜産環境総合整備事業「猿払地区」・・・・・・・・・・ 39

平成23年度 補助事業評価（事後評価）

経営体育成基盤整備事業

つくも^{にし}西地区

【基礎資料】

平成24年2月

農村振興局 整備部 農地資源課

経営体育成基盤整備事業「つくも西地区」の概要

○地区概要

事業名	： 経営体育成基盤整備事業
	【旧ほ場整備事業（担い手育成型）（区画整理型）】
総事業費	： 1, 3 6 6 百万円
受益面積	： 1 2 6 ha
受益者数	： 1 3 人
工期	： 平成 1 2 年～平成 1 7 年
関係市町村	： 北海道士別市
主要工事	： 区画整理 1 2 1 ha
	整地工 1 2 1 ha
	用水路 1 3. 1 km
	排水路 2 0. 4 km
	暗渠排水 5 3. 8 ha
	農道工 2 5. 9 km

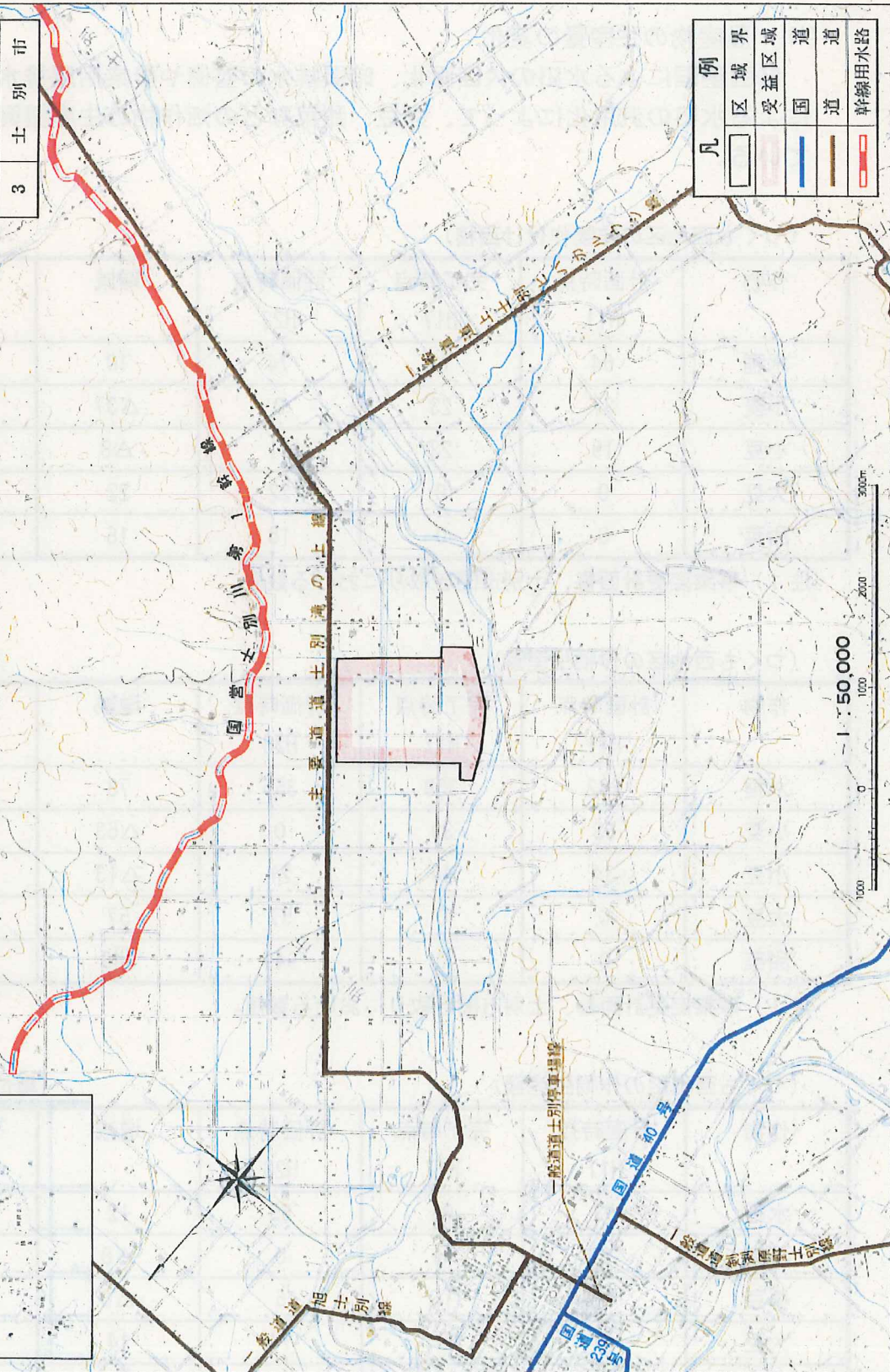
この地図は、国土交通省国土政策局の委託により、国土交通省国土政策局の委託により作成されたものである。この地図は、国土交通省国土政策局の委託により作成されたものである。この地図は、国土交通省国土政策局の委託により作成されたものである。



道管ほ場整備事業
(担い手育成型)
(区画整理型)

平成12年度着工 つくも西地区位置図

1	2000024
2	つくも西
3	士別市



凡 例	
	区域界
	受益区域
	国道
	道
	幹線用水路

1 : 50,000



上川支庁

1 事業効果の発現状況

(1) 農産物の生産量の変化

区画整理による水田の大区画化、暗渠排水の整備や農業用排水路の改修による水田の汎用化によって、大豆、甜菜などの畑作物の生産振興が図られている。

(つくも西地区の作物作付け面積)

(単位：ha)

作物	計画時点 H11	完了時点 H17	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
水稻	64	73	74	10	16
小麦	37	23	0	△37	皆減
小豆	19	23	11	△8	△42
大豆	0	0	22	22	皆増
甜菜	0	0	16	16	皆増

注1) 事業変更計画書、士別市聞き取りにおける数値。

(つくも西地区の作物生産量)

(単位：t)

作物	計画時点 H11	完了時点 H17	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
水稻	282	358	355	73	26
小麦	53	39	0	△53	皆減
小豆	34	46	21	△13	△38
大豆	0	0	57	57	皆増
甜菜	0	0	949	949	皆増

注1) 事業変更計画書、士別市聞き取りにおける数値。

(つくも西地区の作物生産額)

(単位：百万円)

作物	計画時点 H11	完了時点 H17	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
水稻	53	68	65	12	23
小麦	8	6	0	△8	皆減
小豆	11	15	5	△6	△55
大豆	0	0	14	14	皆増
甜菜	0	0	16	16	皆増

注1) 事業変更計画書、士別市聞き取りにおける数値。

(2) 営農経費の節減状況

水田の汎用化により、稲作では耕起・収穫時、畑作では降雨後などにほ場の地区水位を迅速に低下させ農業機械の走行に必要な地耐力が確保できることから、大型農業用機械の導入や適期作業の実施が可能となり、作業効率の向上が図られている。

また、事業実施前は、農業用用水路の老朽化により、毎年維持管理費が高騰する状況であったが、事業においてこれらの改修を実施したことによって維持管理費が節減された。

(労働時間)

(単位：hr/10a 当たり)

作物	事業実施前 H11	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
水稻	28.5	16.1	△12.4	△44
小麦	1.8	1.3	△0.5	△28
小豆	5.3	4.8	△0.5	△9
大豆	—	4.8	4.8	—
甜菜	—	12.4	12.4	—

注) 事業変更計画書、士別市聞き取りにおける数値。

(機械経費)

(単位：千円/10a 当たり)

作物	事業実施前 H11	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
水稻	111	34	△77	△69
小麦	15	10	△5	△33
小豆	13	10	△3	△23
大豆	—	10	10	—
甜菜	—	17	17	—

注) 事業変更計画書、士別市聞き取りにおける数値。

(維持管理費の動向)

(単位：千円)

工種	事業実施前 H11	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
用水路	2,168	921	△1,265	△58
排水路	2,327	903	△1,424	△61

注) てしおがわ土地改良区からの聞き取りによる。

つくも西地区の営農状況



水稻の作付け状況



大豆の作付け状況

(3) 農業構造の改善

① 農家数の変動

つくも西地区の農家数は事業実施前には 13 戸の農家が個別経営を行っていたが、農業生産法人に集約が進み、農家戸数が減少している。

(土別市の専兼別農家数)

(単位：戸)

区分	計画時点 H11	完了時点 H17	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
専業農家	324	247	412	88	27.2
兼業農家	901	455	304	△597	△66.3
第1種兼業農家	683	375	222	△461	△67.5
第2種兼業農家	218	80	82	△136	△62.4
合計	1,225	702	716	△509	△41.6

注1) 世界農林業センサス(計画:2000年、完了:2005年、評価:2010年)における数値

(つくも西地区の専兼別農家数)

(単位：戸)

区分	計画時点 H11	完了時点 H17	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
専業農家	11	8	4	△7	△63.6
兼業農家	2	0	0	△2	△100
第1種兼業農家	2	0	0	△2	△100
第2種兼業農家	—	—	—	—	—
合計	13	8	4	△9	△69.2

注) 土別市聞き取りにおける数値。

② 経営規模別農家数の変動

つくも西地区の経営面積は全て10ha以上の経営面積を有する大規模農家となっている。

(つくも西地区の経営規模農家戸数)

(単位：戸)

区分	計画時点 H11	完了時点 H17	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
3.0未満	—	—	—	—	—
3.0～5.0	2	—	—	△2	皆減
5.0～10.0	2	—	—	△2	皆減
10.0～20.0	5	2	1	△4	△80
20.0以上	4	6	3	△1	△25
合計	13	8	4	△9	△69

注) 士別市聞き取りにおける数値。

(4) 担い手への農地の利用集積の推進

士別市、農業委員会、農協、土地改良区による協議会（担い手協議会）を開催し、高齢化及び担い手不足農家を対象に流動化対策農地の有無を聴き取り、担い手を対象に経営規模拡大の意向を聴き取り、集積農地の団地化が図られるよう調整を行っている。

時点	地区 面積 A	所有面積		賃貸借設定 面積		基幹3作業 委託面積		合計			集積率 H/A
		地区 内	地区 外	地区 内	地区 外	地区 内	地区 外	地区内 H	地区外	計	
事業実施前 a	126.5	43.9						43.9	0.0	43.9	34.7
計画(完了時)b H17	126.5	69.2	0.2			6.6		75.8	0.2	76.0	59.9
増加率 (b/a-1)*100								72.7			
実績(完了時)c H17	126.5	69.2	0.2					69.2	0.2	69.4	54.7
増加率 (c/a-1)*100								57.6			
実績(評価時点)d H23	126.5	69.2		41.5				110.7	0.0	110.7	87.5
増加率 (d/a-1)*100								152.2			

注) 農業農村活性化計画達成状況報告書における数値。評価時は士別市聞き取りにおける数値

(5) 生産組織及び担い手の育成

(農業生産法人数)

【士別市】

(単位：法人)

区分	計画時点 H11	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
農業生産法人数	0	26	26	皆増

【つくも西地区】

(単位：法人)

区分	計画時点 H11	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
農業生産法人数	0	1	1	皆増

(認定農業者数)

【士別市】

(単位：人)

区分	計画時点 H11	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
認定農業者数	205	499	294	143.4

【つくも西地区】

(単位：人)

区分	計画時点 H11	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
認定農業者数	11	4	△7	△63.6

(6) 農地の確保と有効利用

平成11年と平成23年とを比較して、田については0.9%の減少、畑については4.4%の減少となっている。

(士別市の農地の状況)

(単位：ha)

区分	計画時点 H11	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
田	9,280	9,200	△80	△0.9
本地	8,690	8,610	△80	△0.9
畑	7,984	7,630	△354	△4.4
計	17,264	16,830	△434	△2.5

注) 北海道農林水産統計年報における数値。

2 その他特記すべき事項

(1) 道単独事業との連携

平成8年度から平成12年度まで21世紀高生産基盤整備促進特別対策事業（通称：21世紀農地パワーアップ事業）、平成13年度から平成17年度まで食料・環境基盤緊急整備事業により農家負担の減免が行われるなど、道単独事業との連携によって事業成果の早期発現が図られた。

(2) 事業の効果

事業実施前のほ場の平均区画は0.4ha程度であったが事業により2.5ha程度まで区画を拡大し、また用排水施設はパイプライン化を実施した事により、農作業効率の向上や維持管理費の低減が図られた。

(3) 農業生産法人の育成

事業実施前は個別経営を行っていたが、大区画化等による農作業の効率化が図られた事により、新たに農業生産法人が設立され、農業生産法人を核とした地域営農が展開されている。

(4) 安心・安全な農業への取り組み

事業を契機に、地域の安心、安全な農業への取り組みの機運が一層の高まりを見せ、農業生産法人をはじめ地域の農家が「栽培協定締結生産者」として農協に登録し、栽培基準を守った安心・安全な農産物の生産に努めている。

(5) 地域への貢献

農地・水・環境保全対策事業による地域への環境保全活動として、用排水路や農道周辺の草刈り、また地域の主要農道沿いへのコスモスの植栽を行うなど、地域環境保全に向けた取り組みを実践している。

(6) 事業により整備された施設の管理状況

用排水路施設はてしおがわ土地改良区は適切に管理している。

(7) 社会経済情勢の変化

① 産業別生産額

農業産出額は計画時点と比べて増加しており、商業及び製造業の生産額は計画時点と比べて減少している。

(士別市の産業別生産額)

(単位：百万円)

区分	計画時点 H12	評価時点 H22	増減	増減率 (%)
農業	1,050	1,180	130	12
商業	5,300	3,780	△1,520	△28
製造業	1,690	1,420	△270	△16

注) 国勢調査における数値。

②産業別15歳以上就業者数

士別市の産業別15歳以上就業者数は、農業就業者の減少率では計画時点から事後評価時点では15%の減少となっており、総数に占める減少率より大きくなっている。

(士別市の産業別15歳以上の就業者数)

(単位：人)

産業名	計画時点 H11	評価時点 H23	増減	増減率 (%)
農業	2,663	2,274	△389	△14.6
林業	111	70	△41	△36.9
漁業	2	1	△1	△50.0
鉱業	51	14	△37	△72.5
建設業	1,786	1,413	△373	△20.9
製造業	1,306	884	△422	△32.3
電気・ガス・熱供給・水道業	69	39	△30	△43.5
運輸・通信業	603	494	△109	△18.1
卸売・小売業・飲食店	2,181	2,159	△22	△1.0
その他	3,928	4,146	218	5.5
総数	12,700	11,494	△1,206	△10.3

注1) 北海道市町村勢要覧における数値。